

# 子育て支援に関する 未就園児保護者の意識調査



子ども子育て研究室

# 目次

1. 調査にあたって
  - ・本レポートの目的
  - ・調査概要
2. 園向けアンケート調査 結果の要約
3. 未就園児保護者インタビュー調査 結果の要約
4. 終わりに

# 1. 調査にあたって

# 本レポートの目的

私たちは子ども子育て研究室(以下、子子研)は、「フレーベル西が丘みらい園」という認可保育所を持つ、株式会社フレーベル館の調査研究部門です。  
「子どもと社会をつなぐことによって、保育・子育ての課題を解決する」をミッションに掲げ、子どもや子育てに関する調査研究を行っています。

少子化に付随して、核家族化が進むとともに、地域社会の希薄化が叫ばれている今、子育てを自然に学習する機会が減少し、その状況が育児不安の一因ともなっています。  
また「子育ては母親がするべきだ」といった偏見や3歳児神話など、子育て中の母親に対する社会の重圧もいまだにあり、子育てのしにくさを助長しています。  
こうした問題は、子育て家庭の孤立化を招くとともに、虐待発生リスク要因ともなっており、未就園児保護者の支援は今後これまで以上に求められています。

そこで今回我々は、  
園を対象に、子育て支援の実情と課題調査を行った上で、  
未就園児保護者を対象に、子育て支援に関する意識調査を実施しました。

本レポートは、調査を通して見えてきた未就園児保護者の「子育てに関する価値観」「子育て支援に関する価値観」「本質的欲求」を抽出し、「求める子育て支援」についてまとめています。

調査を通して見えてきた未就園児保護者の姿や子育て支援の課題の解決のために、我々にできることを検討していきたいと思えます。

# 調査概要

## アンケート調査

### 目的

幼稚園・保育所・認定こども園などで行われている子育て支援について、実施している子育て支援や、保護者に関して困っていることや課題を明らかにする。

### 対象者

フレール館保育セミナーのメルマガを読んでいる、幼稚園・保育所・認定こども園の園長・副園長・主任等 計36名

### 期間

2024年5月9日～5月28日

### 方式

インターネットを使ったアンケート調査を実施

## インタビュー調査

### 目的

未就園児保護者の子育て支援の利用状況や、子育て支援に求めることを明らかにする。

### 対象者

第1子が0～2歳児で未就園の子どもがいる保護者計8名

### 期間

2024年7月2日～7月12日

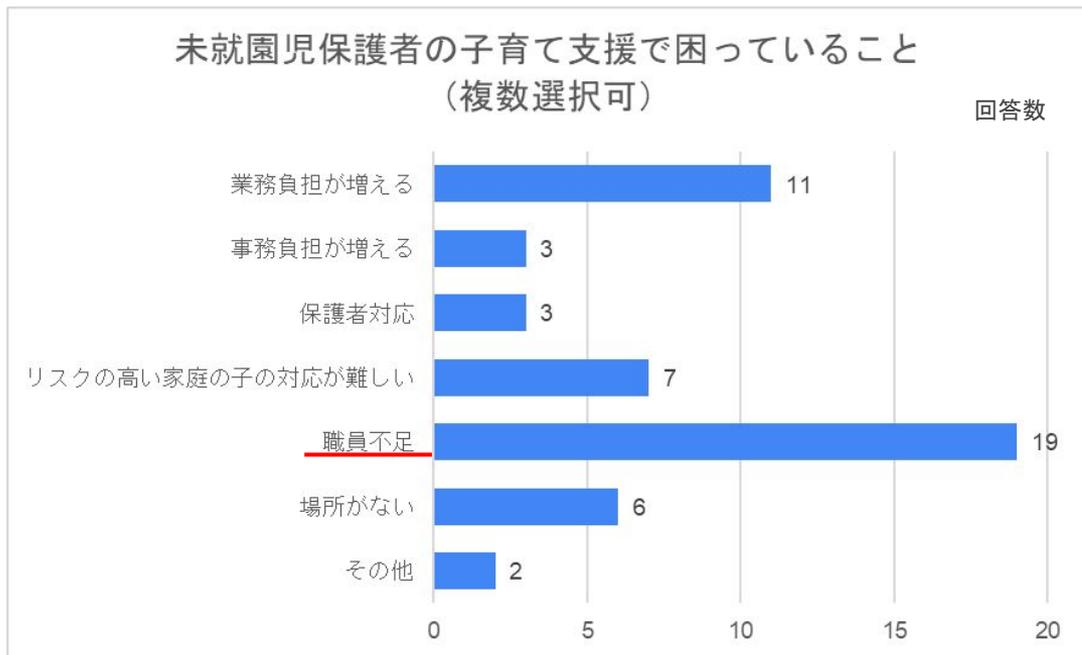
### 方式

オンラインでのデプスインタビュー形式にて実施  
(zoom/GoogleMeet)

## 2. 園向けアンケート調査 結果の要約

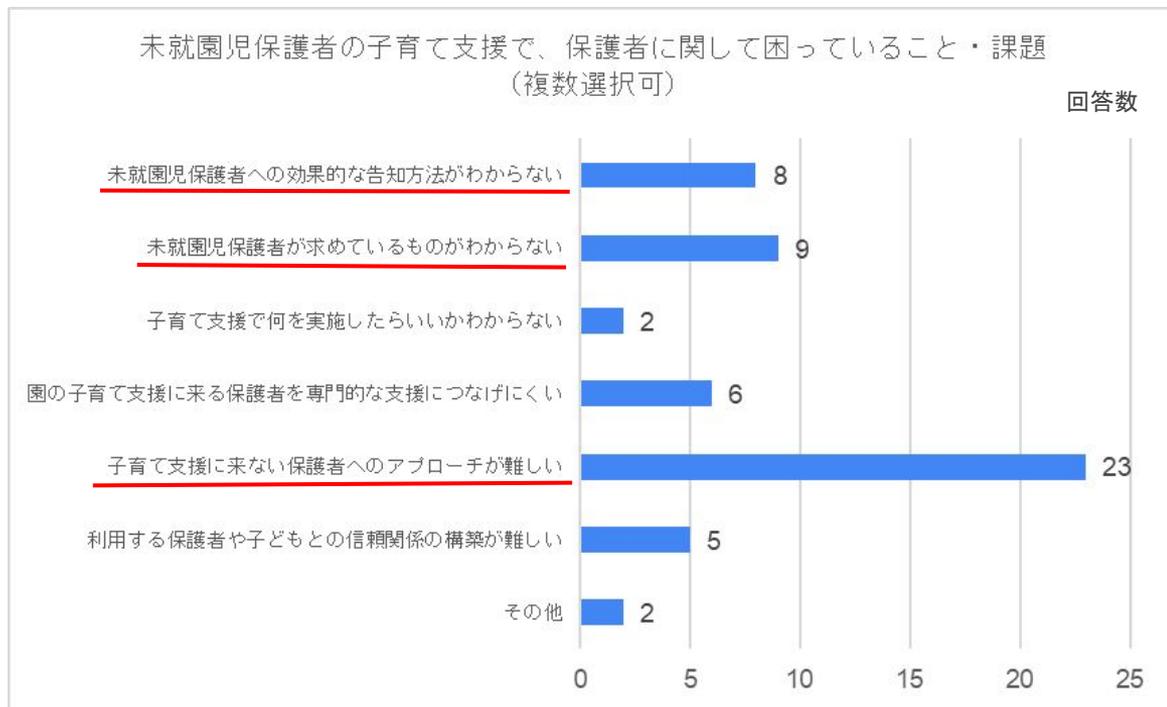
# 1.未就園児保護者の子育て支援で困っていること

未就園児保護者の子育て支援で困っている園は72%。特に困っているのが「職員不足」だった。



## 2.未就園児保護者の子育て支援で、 保護者に関して困っていること・課題

多くの園が課題と感じているのは「子育て支援に来ない保護者へのアプローチ」。続いて「未就園児保護者が求めているものがわからない」「未就園児保護者への効果的な告知方法がわからない」も課題となっており、園が未就園児保護者の実態を捉えにくいと感じていることがわかった。

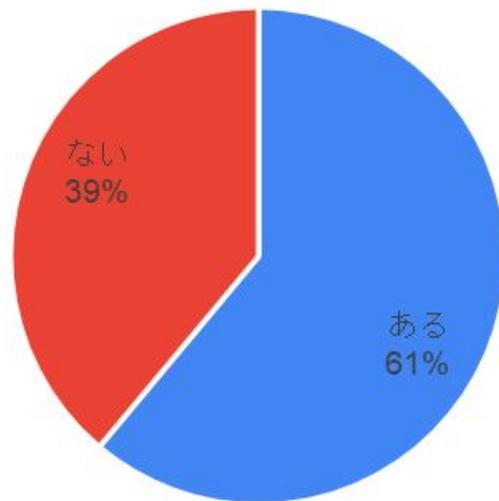


### 3. 今後の子育て支援の充実・拡大の計画

今後子育て支援を充実・拡大する計画がある園は、61%。

#### 今後子育て支援を充実・拡大する計画の有無

回答数 36



## 2.今後の子育て支援の充実・拡大計画について

子育て支援を充実・拡大する計画が「ある」と答えた園では、対象者の拡大や内容の充実・拡大などを検討するだけでなく、「保護者の利用しやすさ」に対応していきたいと考えていることがわかる。

### 充実・拡大する計画が「ある」と答えた理由・計画内容

#### 気軽に來れる場づくり

- ・園庭開放を頻繁に行い、いつでも頼れる保育園を目指したい
- ・園庭開放、貸出図書などを取り入れたいが担当者の人員確保が難しい
- ・園庭開放
- ・現在、園庭開放や水遊び、在園児との交流、身体測定、英語プログラムや食育を実施しているが、今後は園行事にも参加を促す予定です。
- ・今は、週2回の子育てサロンと年30回の登録制サークルだか、今後は毎日開ける子育て支援室としての運営を目指したい
- ・地域の子育て支援を行っていききたいので、より多くの保護者が気軽に足を運べる場を提供していきたいので。
- ・オープン保育園のような行事、保育所体験など

#### 食を絡めた支援

- ・あかちゃん食堂が間もなくスタートします。赤ちゃんを育てるママに自園の美味しいご飯を食べてもらい、子育ての話を職員や集まった方とする取り組みです。本気でこの地域で育てて良かったと思える場所にしたいと思っています。その取り組みのひとつです。
- ・子ども食堂的な食を絡めた中での地域交流の場をつくっていききたい
- ・栄養士もはいてもらい離乳食教室 作り方

#### 内容の充実

- ・内容を工夫していきたいと考えている。
- ・活動内容の充実を考えている。
- ・未就園児家庭対象の習い事(セミナーみたいなもの)

#### 対象者の拡大(プレママ・子育てが終わった世代・地域等)

- ・助産師さんを迎えて、妊娠中の(特に初産)方への支援とアプローチを取り入れる予定。
- ・保護者だけでなく、未経産婦や子育てが終わった世代が園を通じてこどもの育ちに興味関心を持ち関わってくれる仕組みを作りたいと考えています。本年度からすべての人を対象にした園体験を実施しています。効果検証し、本活動の拡大や他の取り組みへの発展を考えています

#### 園児獲得につなげる

- ・子育てと共に親育ても同時に進めていくことが喫緊の課題と感じていること、また少子化に伴い園児獲得をねらいたいと考えている。
- ・入園につなげたいため

#### 医療連携・地域連携

- ・当法人ではネウボラ事業として、子育てのみならず子どもの育ちや保護者の支援も含めた「家庭支援」をワンストップでおこなっている。さらに医療連携や地域連携を進めるために、こども家庭庁などが推し進める事業にも積極的に事業化を進めたい。

## 2.今後の子育て支援の充実・拡大計画について

子育て支援を充実・拡大する計画が「ない」と答えた園では、職員不足が足かせとなっていることがわかった。しかし今後、少子化が進めば園運営単体では継続的な運営が難しくなり、子育て支援の充実・拡大方向へ考えが変わってくることが予測される。

### 充実・拡大する計画が「ない」と答えた理由

#### 職員不足で拡大する余裕がない

- ・職員不足で、通常クラスの運営すらギリギリなので、拡大できない
- ・現状でうまくいっているし、これ以上のことをする余裕や人員がない。
- ・場所と人がいない
- ・地域性も含めて現状でいっぱい。子育て放棄支援にならないように親心を高めたいと考えます。

#### 現在の取り組みがちょうどよい・充実している

- ・現在の取り組みは充実している
- ・今は一時預かり事業でいっぱい。近隣の本園(こども園)では10月からこども誰でも通園が始まります。
- ・現状がニーズにちょうど合っているようだと思う。

### 3. 未就園児保護者インタビュー調査 結果の要約

## 1.子育て支援を利用したきっかけ

保護者インタビューを通して、子育て支援の利用した時期として最も多いの以下2つであることがわかった。

	最も多いのは <b>生後2か月～4か月</b>	次に多いのは <b>生後6か月～1歳前後</b>
利用した子育て支援	同月齢の子のママが集まる場	子育て支援センター等の遊びのひろば
知ったきっかけ	助産師訪問や健診でもらった資料、自治体の広報誌	ネット検索
利用した理由	ずっと家にいたので外に出たい・気分転換したい・人と話をしたい	子どもが動けるようになり、家で発散ができなくなり、体を動かして遊べる場所を求めて

**子育て支援を利用する理由は子どもの月齢や発達によって変化。**

## 2.未就園児保護者の4つのタイプ

子育てに関する価値観や子育て支援に関する価値観から、4つのタイプが見えてきた。次頁以降では、各タイプごとに価値観等を深掘りした上で、求める子育て支援について明らかにしていく。

A

### 毎日外出したい！刺激がほしい！ 完璧主義なアクティブタイプ

出かけることが好きで、家の中で子どもと二人で過ごしたり、同じような遊び・場所は退屈に感じる。  
充実した生活をしたいので、名前のある予定を入れたい。  
自分で調べて創意工夫するのは苦手で、できあがったものを買いたい。家事はあまり好きではないし得意ではない。  
閉じた空間や関係が苦手で、家の中で楽しい過ごし方や遊び方がわからない。

B

### 子育てに不安を感じているので、人と話をしたり、知識を得たい確認タイプ

実家など、子育てについて頼れる人がいるので、子育てに切羽詰まっているわけではない。  
子育て支援に特別に何かを期待してはおらず、行くと満足している。  
外出はハードルが高いが、時間や場所が決まっているイベントなどきっかけがあると外出しやすい。

C

### 人づきあいは苦手だけど、本当は人とつながりたい。悩みは自分で調べて解決する冷静タイプ

感情的にならず落ち着いていて、何事も客観的に見ようとしていて、自分の子どもについても保育士のような見方をする。  
我慢強いが、少し頑固な面もある。  
人づきあいは少し苦手。

D

### 新しい人間関係は苦手。子育て支援に必要性を感じない無関心タイプ

子育てに対して意思や思い、こだわりがなく、これまでの人生、何となく流れや周りの雰囲気に乗ってうまくやってきた。  
便利グッズが好きで、お金の節約に興味があり、使えるものは使うなど、ちゃっかりした面がある。  
ある意味、おおらかで細かいことは気にしていない。

# 1.未就園児保護者の4つのタイプ Aタイプ

## Aタイプ

毎日外出したい！ 刺激がほしい！ 完璧主義なアクティブタイプ

### 子育てに関する価値観

- 子どもは親が見るべきと考えており、子どもを身内に預けることに抵抗はないが、他人に預ける場合は預ける理由がないといけな思っている。
- 子どもにとって良いこととは、色々な経験をする・体を動かすことだと考えており、子どもと遊ぶとは見守ることではなく一緒に遊ぶことだと考えている。
- 上記のように、理想とする子育てを無意識に自らに課しているため、子育てで孤独やストレスを感じるが、積極的に外に出て同じ状況の人と話をすることで発散している。

### 子育て支援に関する価値観

- 同世代の子ども同士で会うことはわざわざ機会をつくらなとないので、子育て支援でかかわりを持ってほしい。
- 一時預かりを選ぶときは園の違いがわからず、実際に利用することで自分に合う・合わないがわかる。
- 特に2歳から公的な支援が減るのでお金を払うのは仕方ないと感じるが、2歳児向けに無料で質の良いものがほしい。

### 本質的欲求

- 優等生タイプでなんでも卒なくこなしてきたので、理想どおりにいかないことが許せず、他人からちゃんと子育てをしていると思われたい。子どもへの理想が高く、文武両道のエリートになってほしい。
- 家事もしっかり行いたいので、家事をしている間は子ども一人で遊んでほしい。
- 仕事をしていないのに預けていることに負い目を感じるため、預けて良かったと思いたい。子どもにとって嫌な経験にならないように、一時預かりやベビーシッターには丁寧に子どもを見てほしい。
- 子どもに色々な経験をさせたいが自分で準備するのは大変なので外注したい。



# 1. 未就園児保護者の4つのタイプ Aタイプが求める子育て支援

## Aタイプ 毎日外出したい！ 刺激がほしい！ 完璧主義なアクティブタイプ

### 価値観・本質的欲求

### 求める子育て支援

家の中にいることや退屈が苦手で、名前のある予定を入れて楽しく暮らしたい。

特別感のあるイベントや大人も子どもも楽しめるようなイベント  
例：コンサート、劇

子どもに様々な経験をさせたいが、自分が一から用意するより外注したい。

習い事や教室のような活動  
例：リトミック、体操教室

無意識に完璧な母親を目指している。

ほっとできる雰囲気づくり

### 価値観・本質的欲求

### 求める子育て支援

専門家や先生への期待値は高い。

専門家による講演会や適切なアドバイスがもらえる個別相談会等

子どもにとって嫌な経験にならないように、一時預かりやベビーシッターには丁寧に子どもを見てほしい。

一時預かりに預けている間の子どもの様子を詳しく伝えたり、一緒に体を動かして遊んだりするなどの対応

仕事をしていないから本当は預けなくていいのに預けることに負い目を感じるため、預けて良かったと思いたい。

預けることを肯定的に見たり、気軽に利用できる雰囲気づくり

# 1.未就園児保護者の4つのタイプ Bタイプ

## Bタイプ

子育てに不安を感じているので、人と話をしたり、知識を得たい確認タイプ

### 子育てに関する価値観

- 一人で遊ばせると子どもに対して申し訳ないと感じる。
- 毎日一人で子育てをしなくてはいけないため大変。
- 心に余裕がなく、子どもの見方がネガティブになりがち。
- 一人で子育てをしていて閉塞感や孤独を感じており、誰かとリアルでつながりたい。

### 子育て支援に関する価値観

- 電話予約は面倒。
- 公的なサービス・場所は安心感がある。
- 先生に子どもを肯定的に見てもらえると、子どもをポジティブに見られるようになるので、子育て支援に満足している。
- 利用の当初は子育て支援に明確な何かを求めていたわけではない。
- 園庭開放や未就園児クラスなど園で行う子育て支援は先生とかかわれると来た甲斐があると感じる。それにより園に対して良い印象が残る。

### 本質的欲求

- 仕事に復帰するために近いうちに園に入れたいので、今から子どもに集団を経験させて、自分が安心したい。
- 子どもの遊び方や興味が、自分の無意識の中にある子ども像や自分自身の経験・想定とギャップがあると不安を感じることもあるので、同じ年齢の他の子の様子を知りたい。
- 子育て支援は子どものためのものだと思っているけれど、親である自分のことも気にかけてもらえる嬉しい。



# 1. 未就園児保護者の4つのタイプ Bタイプが求める子育て支援

**Bタイプ** 子育てに不安を感じているので、人と話をしたり、知識を得たい確認タイプ

## 価値観・本質的欲求

## 求める子育て支援

知識を得ることが好き。

専門家による子育て講座、我が子の状況に沿った個別子育て相談

外出のハードルは高いが、自分の気分転換のためにも出たいので、出かけるきっかけがほしい。

日時が決まっていて定期的に通うもの  
例：未就園児クラス

電話予約は面倒。

ネット予約

## 価値観・本質的欲求

## 求める子育て支援

園の子育て支援では先生とのかわりがほしい。

先生が子どものことを覚えていることがわかる対応  
例：子どもの名前と呼ぶ、好きな遊びに誘う

一人で子育てをして心の余裕がなく、子どもの見方がネガティブになりがち。

子どもを肯定的に見る見方や子どもの良い面を伝える言葉かけ

# 1.未就園児保護者の4つのタイプ Cタイプ

## Cタイプ

人づきあいは苦手だけど、本当は人とつながりたい。悩みは自分で調べて解決する冷静タイプ

### 子育てに関する価値観

- 自分の気持ちよりも子どもを優先して物事を決める。
- 今は子育てに切羽詰まった不安はない。
- 新しい人間関係を築くのは苦手だけど、子どものために一応ママ友付き合いをし、情報交換をしたり、子育ての悩みに共感したり、子ども同士で遊ばせたりなどしている。

### 子育て支援に関する価値観

- 子育て支援はまずはネットで調べるので、ネットで予約して完結したい。電話予約は面倒。
- 園の情報はネットにないから近所の掲示板や園の掲示板などを見て積極的に情報をとりにいく。
- 子育て支援ひろばは、広さとおもちゃの量の違いしかわからない。

### 本質的欲求

- 自分から相談できないタイプなので、先生から親身に聞いてもらえると嬉しい。
- 他人に頼るのが苦手なので、自分で情報を集めて考えて解決しようとしがち。
- 子どもや子育てのことは未知の分野だったが、自分の子どものために冷静に分析して、より良い方法や接し方などを見て学んでいる。
- 家では経験できないので、同年代や異年齢の子ども同士のやりとりを経験させて社会性を身につけてほしい。楽しい経験だけでなく、他者とのかかわりの中でのうまくいかない経験も価値を感じる。
- 全体像を見て、良いも悪いも受け入れ、理性的に物事を判断したい。
- 特別親しいママ友を作る気はないが、地域コミュニティで孤立したくない。



# 1. 未就園児保護者の4つのタイプ Cタイプが求める子育て支援

**Cタイプ** 人づきあいは苦手だけど、本当は人とつながりたい。悩みは自分で調べて解決する冷静タイプ

## 価値観・本質的欲求

家では経験できないので、同年代や異年齢の子ども同士のやりとりを経験させて社会性を身につけてほしい。楽しい経験だけでなく、うまくいかない経験も価値を感じる。

自分からは相談できない。

## 求める子育て支援

未就園児クラスのような、子ども同士がかかわりあえるような機会の提供

相談しやすい雰囲気づくり  
例:先生から親身に話しかける、落ち着いた話せる区切られたスペースの用意等

## 価値観・本質的欲求

新しい人間関係を築くのは苦手だけど一応ママ友付き合いをしたい。  
  
悩み事については自分で調べ、理性的に判断し、解決しようとする。

ネットで予約して完結したい。電話予約は面倒。

## 求める子育て支援

保護者同士の交流を促進するような働きかけ

納得できる説明・専門性に裏付けられたアドバイス

ネット予約

# 1.未就園児保護者の4つのタイプ Dタイプ

## Dタイプ

新しい人間関係は苦手。子育て支援に必要性を感じない無関心タイプ

### 子育てに関する価値観

- 子育てに対して意思や思い、こだわりは、他人にはっきり話すほど持っていない。
- 子育てに対する主体性があまりないので、疑問や悩みも生まれない。
- おとなしくて聞き分けの良い子どもが良いと考えている
- 子育てを便利にしようという考えはあるけど、子どものためにより良くしようという発想はない。
- 義母の干渉は多いが、頼れるところはうまく利用する。

### 子育て支援に関する価値観

- 子育て支援に必要性や魅力を感じていないので、子育て支援に行かない。
- 子育て支援の代替となるものが身近にあって利用できるので、子育て支援の必要性を感じない。

### 本質的欲求

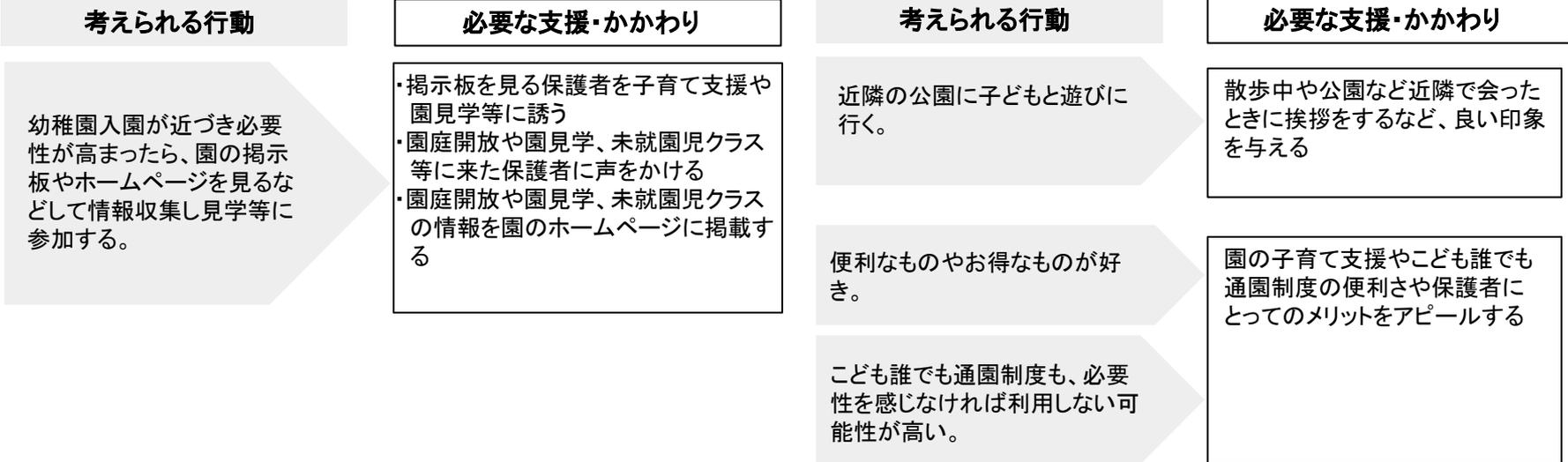
- 自分に特に意思はないから、波風立たないほうを選ぶ。
- 他人に心を開くのに時間がかかるので、新しい人間関係をつくるのが苦手。



# 1. 未就園児保護者の4つのタイプ Dタイプへの支援・かかわり

このDタイプの方々は、他の3つのタイプとは異なり、現状子育て支援を求めている。保護者の話の中に子どもの姿を見つづけることが難しかった。そのため、子どもが何か困りごとを抱えている場合は発見が遅れる可能性がある。接点を作ることは難しいが下記のような支援やかかわり方が考えられる。

## Dタイプ 新しい人間関係は苦手。子育て支援に必要性を感じない無関心タイプ



### 3. 保護者共通で子育て支援に求めていること

保護者を4つのタイプに分けて求める支援を見てきたが、すべての保護者が共通で求める子育て支援がわかった。

#### ①同月齢の子とかかわらせたい

- ・同年齢・異年齢の子とのかかわりは、家庭では十分に経験できない
- ・集団生活(園生活)に触れる体験をさせてあげたい
- ・親としても同じ月齢・年齢の子の様子が気になる
- ・2歳だけを対象にした公的な子育て支援が少ない

#### ②同月齢の子をもつ親と交流したい

- ・大人と話すことで息抜きをしたい
- ・「うちだけじゃないんだ」と安心したい

#### ③専門家の話を聞きたい

- ・子どもにとってよいことは知っておきたい
- ・2～3歳の子どもへのかかわり方や遊びについて知りたい
- ・自分の子どもにあったアドバイスがほしい

#### ④安心して預けたい

- ・身内に預ける・頼ることはハードルは低い
- ・知らない場所・先生に預けるのは、どんな場所でのようなことが行われるかわからないので最初は不安
- ・子どもが泣かずに過ごせると安心する

#### ⑤予約は簡単に行いたい

- ・ネット予約に慣れていて電話予約が手間と感じる

## 4. 終わりに

## 終わりに

今回調査をした結果、保護者は4タイプに分けられ、それぞれの保護者の子育ての価値観や子育て支援に関する価値観、そして子育て支援に求めることがわかりました。「未就園児保護者が求めているものがわからない」という課題や「子育て支援で何を実施したらいいかわからない」という課題に対して、応えることができました。

しかし、子育て支援を利用したことがない人にインタビューすることができたものの1名のみの実施だったため、「子育て支援にこない人へのアプローチが難しい」という園の課題に対して十分に答えられない結果となり、今後の課題となりました。

少子化や核家族化、地域社会の希薄化により、子育て家庭の抱える課題や求めるものは多様化していると言われており、保護者の価値観も求める子育て支援も多様だという様相が見て取れました。一方で、子どもと親だけの生活に限界を感じ、子ども同士のそして保護者同士や専門家とのかかわりを求めるという共通点も見取れました。

こども家庭庁が「はじめの100か月の育ちビジョン」を策定したことに表れているように、国は「誰一人取り残さない ひとしい育ちの保障」を目指し、子どもの誕生前から幼児期までを支援していく方針です。

我々フレーベル館も、全ての子どもたちと、それを支える人たちのために、継続して子どもをとりまく環境を見つめ、丁寧に解決への糸口を掴む活動を今後も取り組む中で、子どもについて多くの関係者の方々と議論していきたいと考えています。